

5月26日～①

今日の目標 無セキツイ動物がいくつかのグループに分かれることを理解しよう(1時間目)

前回のプリントでは、セキツイ動物を5つのグループに分け、からだのつくりなど特徴を学びました。今回は無セキツイ動物です。セキツイ動物よりも圧倒的に種類が多い無セキツイ動物。どのようにグループ分けしたらよいでしょうか。

移行用補助教材p6

☆無セキツイ動物にはどのようなものがいるでしょうか。いくつか書いてみましょう(ヒント!→身近な動物から海の生き物などさまざまな種類の動物が書けるといいです)。

☆上に書いた無セキツイ動物のからだのつくりにはどのような特徴があるでしょうか。(ヒント!→無セキツイ動物には背骨がありません。ではどのようにしてからだを支えているのでしょうか。昆虫や海の生き物のちがいなど)

移行用補助教材 p6を見てください。無セキツイ動物はたくさんの種類がいて、その特徴から次のようなグループに分けられています(実際にはさらに細かく分類されていますが、中学校で学ぶところをおさえましょう)。

節足動物…からだがかたい殻でおおわれている。

バッタ、カブトムシなどは()類
ザリガニ、ミジンコなどは()類

軟体動物…水中で生活するものが多く、外とう

膜(後で学習します)で内臓を包んでいる。
軟体動物の例:イカ、()
(), ()など

その他のグループ(→詳しい名前は理科便覧の p33に掲載されています。参考にしてください)

ウニ、ヒトデ、ナマコなどのグループ ミミズなどのグループ

クラゲ、イソギンチャクなどのグループ

《確認問題》

下の動物を次の①～④のグループに分け、記号でかきましょう。答えは次のプリントの最後にあります。

～動物～

- a カメ b ミジンコ c アリ d カエル
e クモ f カニ g トンボ h マイマイ

～グループ～

- ①セキツイ動物() ③甲殻類()
②昆虫類() ④軟体動物()

1年 組 名前

5月26日～②

今日の目標 無セキツイ動物のからだのつくりを知ろう(2時間目)

無セキツイ動物はからだのつくりから節足動物や軟体動物などに分けられることを学習しました。このプリントではからだのつくりをさらに詳しくみていきます。

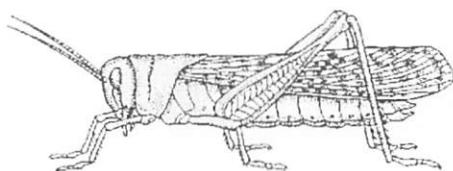
※移行用補助教材や教科書では、実験や観察のページがあります。現在は休校中なので、再開後に調整しながら検討していきます。学習内容に支障がないようにするので安心してください。なお今回の「観察Ⅰ 無セキツイ動物の特徴」も同様です。

移行用補助教材 p7～、理科便覧 p32、33

☆無セキツイ動物の中でも今回は節足動物と軟体動物についてまとめていきましょう。

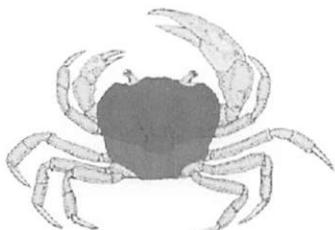
○節足動物…昆虫類や甲殻類など

バッタ(昆虫類)



- ・からだは頭部、胸部、腹部の3つ
- ・胸部にあしが3対(6本)
- ・胸部や腹部には気門(空気を取り込むところ)がある

カニ(甲殻類)

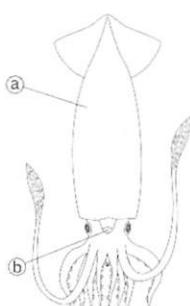


- ・からだは頭胸部、腹部の2つか頭部、胸部、腹部の3つ
- ・水中で生活するものが多く、えらや皮ふで呼吸する

節足動物のからだは殻でおおわれており、からだとあしには()がある。殻はからだを支えたり、保護したりするはたらきがあります。この殻を()といいます。筋肉は外骨格の内側についており、関節では、外骨格を引っ張るようにしてはたらきます。

○軟体動物

イカ



軟体動物のからだとあしには()がありません。軟体動物では()とよばれる筋肉でできた膜(左図の a)があり、内臓がある部分を包んでいます。またアサリやサザエのように外とう膜をおおう貝殻があるものが多いです。左図の b は「ろうと」とよばれる部分で、水を勢いよく出すときの反動を使って泳いでいます。

今回の《確認問題》はワークです。P14～の「1無セキツイ動物の特徴を調べよう」を付属のノートにやって復習しておきましょう。丸つけまでします。

～前回の解答～

- ③ セキツイ動物 a,d ② 昆虫類 c,g
③ 甲殻類 b,f ④ 軟体動物 h

1年	組	名前
----	---	----

5月26日～③

今日の目標 動物の分類表をつくり特徴を確認しよう(3時間目)

無セキツイ動物はからだのつくりから節足動物や軟体動物などに分けられることを学習しました。このプリントではからだのつくりをさらに詳しくみていきます。

移行用補助教材 p9

移行用補助教材を見ながら、必要な言葉を書き込んでいきましょう。必要な線があるときは書き加えて表を完成させましょう。

無セキツイ動物			セキツイ動物					
その他	軟体動物	節足動物	魚類	両生類	ハチュウ類	鳥類	ホニュウ類	
								生活場所
								移動のための器官
								呼吸器官
								体温調節
								子の生まれ方
								体表
								動物の例

今回の確認問題はワークです。P15～16までを付属のノートにやって復習しましょう。丸つけまでやります。学校再開後にワーク付属のノート、毎回のプリントを提出します。

1年	組	名前	
----	---	----	--